

心をひとつに 届けよう 私たちの思い(歌声)！ 文化発表会 11月3日

文化発表会では、各学年で合唱コンクールが行われ、金賞の発表の時に、大きな歓声が受賞学級から起こりました。合唱コンクールは、クラスでよりよい歌を創るために、様々な悩みや苦労があったと思います。この2週間の練習中、校内で響く歌声には、担任、生徒それぞれの思いが詰まっていたと思います。その一つ一つを学級担任と生徒が、心を一つして一緒に乗り越えて素晴らしい歌を創る、その過程にこの合唱コンクールの価値があります。

○生徒会長井上さんからのメッセージ

私にとって今年の文化発表会は挑戦ばかりでした。だから最初は不安でいっぱいでしたが、生徒一人一人が本番に向けて頑張っている姿を見て、とても勇気づけられました。特に生徒会劇では、大勢の人が手伝ってくれて嬉しかったです。本番では生徒全員で、「優愛」の集大成を見せることができたのではないかなと思います。



生徒会劇

○ 3年生徒感想

私が文化発表会を終えた瞬間、一番感じたことはやりきったという達成感でした。さらに、みんなで一つの目標に向かって取り組むことの大切さやみんなで一つになれた時の達成感を学ぶことができました。

クラス合唱では生徒の足並みが揃わずにとっても苦労しました。でも本番に近づくにつれて自分を見つめ直しクラスの団結が高まりました。本番では金賞はとれませんでした。感動のあまり泣いてしまう人も出て、今までの努力が報われた気がしました。

生徒会の劇に参加して、みんながそれぞれの仕事をして協力したからこそ劇が完成したので、劇を創った一人一人が主役なのだと思います。この劇を通して、周りの協力があるからこそできるものがあること、役を演じることで周りの人たちのことを見つめ取り込み、自分を高めることを学んだ。これからは、何事も努力し、自信をもって行動できるような気がした。



○ 2年生感想

練習中に誰一人も文句言うこともなく、けんかもすることなく、クラスで一つになり歌えたことが何よりもうれしかったです。金賞はとることができなかったけど、どのクラスよりもいい雰囲気でも歌うことができ、気持ちで負けていなかったのがよかったです。どのクラスよりも難しい歌を、このクラスのみならず歌うことができ、一生の宝物ができました。

○ 1年生感想

3年生の学年合唱は、とても心に残りました。3年生は入場したときから、泣いている人がいて印象に残りました。私は私たちが3年生になったら、私たちも泣くのかなと思ったりしました。中学校初めての文化発表会はとても面白く楽しかったです。このクラスで歌ったことを2年生、3年生になっても忘れないようにしたいと思います。

○図書館クラブ生徒による八幡大空襲の語り

地域の「平野塾」の方は、八幡大空襲の語り部として、戦争の悲惨さと平和の大切さを語り継いで下さっています。今年は、図書館クラブの3年生が、「平野塾」の方の思いを受け継ぎ、空襲の語りと平和をつくる決意を発表しました。「平野塾」の方も聞きに来ていただき、感動して涙を流す方もおられ、ぜひ生徒と指導した下さった先生にお礼を言いたいと11月8日に来校されました。

図書館クラブ発表



※「平野塾」の皆さんの感想

生徒さんたちの朗読は、素直で真剣に取り組む姿勢が大きな感動をよびました。今日一緒に聞いておられた地域の方もどれほど喜んでおられたかが分かります。体験者が語るメッセージも大切ですが、次の世代の中学生がこのように表現して伝える事も大事だと強く感じました。ありがとうございました。

音楽部 花尾小学校 学習発表会 出演 (11月4日(日))

音楽部は、花尾小学校の学習発表会に出演し、トーンチャイムや合唱を披露しました。小学生にとって、「中学生は素晴らしい。」という憧れになったと思います。



※音楽部生徒の感想

小学生を前に、いつもとは違う雰囲気を感じ、最後まで聴いてもらえるか不安でした。でも、自分たちが楽しんで演奏することを心がけて笑顔で取り組みました。これからはこの経験を活かして、次のステージでも頑張りたいと思います。

1年生 八幡東区連合音楽会 出演 (11月7日(月) ひびきホール)

1年生は、花尾中学校の代表として出演し、合唱コンクールで金賞をとった1年4組学級合唱と学年合唱を披露しました。花尾中学校の合唱は、声量があり、ハーモニーもとてもきれいで、他の学校の生徒が感心していました。本格的なステージに立ち、他の学校の合唱を聞くことで、1年生の合唱と言う文化が一層磨かれる事を期待しています。

